

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年9月5日（木）

NO. 993号

本号3頁

**憲法会議 拡大常任幹事会 開催**

**引き続き3000万人署名を推進し、**

**草の根の力で安倍9条改憲にとどめを！**

憲法会議は9月1日の午後、全国教育会館で拡大常任幹事会を開催しました。参院選で、改憲勢力による3分の2議席確保を阻止しましたが、安倍首相は結果の勝手な解釈で「議論していけという国民の声をいただいた」と、改憲に突き進んでいます。この秋から、改憲反対の世論を広げに広げ、安倍9条改憲を断念させ、解散・総選挙に勝利して、安倍政権を退陣させなければなりません。また、憲法と現実のくらしの乖離が大きな問題となっており、憲法をくらしに生かすとりくみが求められています。

そのため、①参院選挙の結果と参院選挙後の憲法をめぐる情勢を共有し、新たな情勢の下での改憲策動にとどめを刺し、改憲へ暴走を続ける安倍政権退陣、憲法をくらしに生かすたたかいについて意思統一する場、そして、②憲法会議に求められている都道府県憲法会議の強化に向けたとりくみについて意思統一する場として、拡大常任幹事会を開催しました。

**「安倍改憲を葬り去るため、草の根の運動を広げよう」**

代表幹事の長尾ゆり氏（全労連副議長）は、参議院選挙結果について述べ、3分の2議席確保を阻止した力に、「安倍改憲を葬り去るため、草の根の運動を広げよう」と呼びかけました。

次に、高橋事務局長が方針を提案しました。参院選で改憲派の3分の2崩したことは大きな成果と述べ、それを生んだのは、市民と野党の共闘で1人区10選挙区で勝利し、野党統一候補の得票が4野党の比例票の合計を上回った選挙区が28から29選挙区に拡大するなど、大きく前進したことだと報告。しかし、安倍首相は勝手な解釈で「支持を得た」とばかりに改憲に突き進んでおり、多くの国民に参院選で改憲派の3分の2を崩した成果を広げ、共有し合うとともに、勝手な民意とは逆な解釈で改憲に突き進む安倍政権を厳しく批判しようと呼びかけました。

また、この秋、安倍9条改憲を許さず、安倍内閣退陣をめざし、憲法をくらしに生かすとりくみの推進しようと、次の2点を呼びかけました。

第一に、安倍改憲阻止、安倍政権退陣を共同の力で実現させよう。そのため、①2年間、全国3000万人署名を取り進む中で、世論調査等で安倍政権下での憲法改正に多数の国民が反対の意思を示すなど、改憲反対の世論の広がりをつくった3000万人署名を引き続き推進し、さらに世論を広げ、国会発議を許さぬたたかいをすすめること。②大軍拡、実質改憲、改憲への暴走、悪政を進める安倍政権へのたたかいを強めること。③総選挙で勝利し、安倍政権を退陣に追い込み、野党連合政権合意実現のために努力しあうこと。④「いずも」の空母化、ホルムズ海峡への有志連合参加派遣などの、安倍政権の大軍拡と実質改憲を阻止するたたかいをすすめること。⑤市民の共同、市民と野党の共闘によるたたかいを強めて、たたかうこと。そして、⑥憲法会議独自のたたかいとして、憲法講座・憲法カフェ等の憲法学習を推進し、また、新しい憲法パンフレットの作成・普及を進めること等を提起しました。



午前で開催された憲法講座

第二に、憲法をくらしに生かすとりくみをすすめよう。歴代自民政権により、日本国憲法の実現はほど遠いものとなっており、憲法会議が1968年に憲法を蹂躪する政府や大企業の横暴を社会的に告発する「憲法じゅうりん告発運動」を提起したたかった歴史に学び、憲法の平和的・民主的条項を実現する運動、私のくらしに憲法が生かそう運動、そして憲法を蹂躪する政府や大企業の横暴を社会的に告発する「憲法じゅうりん告発運動」をすすめること。

さらに、都道府県・地方憲法会議の強化に向けて設置し、検討を進めて来た「都道府県・地方憲法会議強化検討委員会」の中間報告を行いました。

## **各地から参院選挙の共闘のたたかい、3000万人署名のとりくみ等を報告！**

討論では、新潟憲法会議の酢山事務局長は、参院選で勝利した市民と野党の共闘について報告しました。市民連合では、「市民の声、1万人プロジェクト」による市民アンケートに基づき、うち越さくら候補と51項目の政策協定を結び、街頭で市民に要求を書いてもらう「七夕まつりアクション」等で大宣伝を行い、勝利したと語りました。

東京憲法会議の斎藤事務局長は、3000万人署名が197万人に達したこと、江東区では毎月8カ所で約50人が署名宣伝行動にとりくみ、巨大団地でも系統的に署名に取り組んでいると紹介しました。また、衆院選挙に向けて25小選挙区中23選挙区で市民連合が結成され、市民と野党各党が参加し、街頭宣伝、集い、学習会などがもたれていると報告しました。

地方憲法会議、参加団体の代表など、13人が発言しました。

## **丸山議員、戦争あおる言動に反省なし、**

## **N国は、そして維新の会は責任を持って辞職させるべき！**

「NHKから国民を守る党」(N国)の丸山穂高衆院議員がツイッターで8月31日に、竹島をめぐる「戦争で取り返すしかないんじゃないですか」と発信しました。これに多くの国民とともに政党からも批判の声が上がっています。

日本共産党の小池晃書記局長は2日、国会内で記者会見し、「千島列島をめぐる『戦争しないとうとうしようもない』とした発言にひとかけらの反省もなく、戦争をあおる発言を繰り返した。議員を辞職すべきだ」と述べました。さらに、糾弾決議は全会一致で衆院として意思を示したものだとして、「決議が踏みにじられるような発言がなされたのだから、党派を超えて与野党で一致して辞職を迫っていく必要がある。各党とよく相談したい」と表明しました。



立憲の辻元清美対委員長は「憲法を逸脱した発言だ。外交問題にもいい影響は与えない」と指摘。「糾弾決議よりもレベルを上げてどうしていくのか協議し、院として行動しなければならない」と述べました。

そして、立憲民主党など5党派は4日、野党国対委員長会談を開き、早急に衆院議院運営委員会の理事会を開催してN国の丸山穂高衆院議員を聴取するよう、与党に申し入れることで一致しました。

## **呆れた！ N国立花孝志党首は「表現の自由だ」と、問題ないとの認識を示す！**

一方、N国の上杉幹事長は4日の記者会見で「言論の自由を徹底的に保護する。発言は擁護する」と強調する一方で「個人的には中身について全く賛同できない」と述べました、立花孝志党首は「表現の自由だ。国会議員として問題提起をしている」とし、問題ないとの認識を示しています。とんでもないN国の実態が明らかになってきました。

丸山氏は批判に対し、ツイッターで「投稿内容は疑問形でもあるように問いかけや問題提起であって問題ない」「言論封殺の圧力には屈しない」などと反発の投稿をしています。

ご存知のように、丸山氏は国後島の「ビザなし交流」に参加した際、ロシアとの領土問題をめぐり、訪問団長の元島民に「戦争しないとどうしようもありませんか」などと発言し、後に謝罪・撤回。衆院は、発言を「憲法の平和主義に反する」と断じ、泥酔して禁止されていた外出を試みるなどの一連の言動を含め「国会議員としての資格はないと断ぜざるを得ない」とする糾弾決議を全会一致で提出・可決しました。

小池氏は、「辞職すべきだ」と述べるとともに、N国に対しても「こういう人物を党に抱えた責任が問われる」と指摘しました。付け加えれば、元々議員として国会に送り出したのは、維新の会です。維新の松井一郎代表（大阪市長）は4日、取材に「選挙目当ての炎上商法だ。彼らの思惑に乗らずに無視する」とコメントしたと報道されていますが、責任を持って、辞職するよう行動すべきではないでしょうか。

## 「イージス・アショア」再調査内容を秋田県に説明 防衛省

調査データにミスが見つかった新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画めぐり、防衛省の担当者が28日、秋田県庁を訪れ、秋田市の候補地だけでなく、青森県や山形県も含めたあわせて20か所で行う再調査の内容を伝えました。

この中で、防衛省の担当者は、調査データのミスなどについて陳謝したうえで、秋田県に対し再調査の具体的な内容を説明しました。

### 何と、青森県や山形県も含めた20か所で調査！

候補地となっている秋田市の陸上自衛隊 新屋演習場だけでなく、青森県や山形県も含め、合わせて20か所を対象に、レーダーの電波をさえぎる山などを仰ぎ見た角度などを調べ、調査を委託する業者との契約手続きを含めた調査期間はおよそ6か月に及ぶとしています。

説明のあと、秋田県の堀井副知事は記者団に対し「青森と山形も含め、政府は『イージス・アショア』の候補地を公平に検討すべきだ。秋田県に配備する理由について明確な根拠を示すよう求めていく」と述べました。

※月刊憲法運動9月号に、秋田と山口からイージス・アショア配備阻止に向けた住民のたたかいが報告されています。秋田からは秋田憲法会議の代表の虻川高範弁護士が「イージス・アショアに『NO!』参院選・秋田選挙区で示された『民意』」とのテーマで報告しています。

是非、お読みください。400円、送料70円 申し込みは憲法会議まで。

## 各地のとくくみ

### 札幌 3000万人署名の呼びかけに「また来た道はイヤ」と署名

札幌市西区では、戦争させない札幌西区の会が3000万人署名を地下鉄琴似駅前でもびかけました。新日本婦人の会や9条の会の会員が横断幕や大型プラスター「ごうまんお友だちファースト 憲法無視の安倍政治NO」を掲げ、ビラを配布しました。

「B29米軍機が飛んできて恐ろしかった記憶があります。なんだか、『また来た出来事』のようで嫌な世の中になって来ましたね」と83歳の夫婦が署名しました。

『表現の不自由展』・その後』の中止や、モノを言う権利制限は戦前のように怖い」と切々と話す70代の女性。76歳の女性も「自衛隊員は海外で戦争するために入隊した人はいないと思う。米軍と一緒にたたかい、亡くなったら家族が悲しむだけです」と、わがことのように怒りました。

田中啓介日本共産党市議らが訴えました。

### 憲法講座のDVDが

#### もうすぐ完成！

「安倍改憲とのたたかいの力をもらった」「草の根からの改憲阻止に向けたたたかいの重要性がわかった」等と、大好評の講座。是非とも、仲間や友達とDVDで学習しましょう！

○100枚 1000円

○送料 180円

